



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2018.6月号

プラネタリウム一般向け投影

太陽と星の動き

星の動きってよくわからないなあ…という方、
多いのではないのでしょうか？
東から昇って西に沈む…
でも北の空の星は反時計回り??
プラネタリウムは、そんな星の動きを再現するのが大得意。
これを見て、疑問をスッキリ解決しませんか？

<投影情報>

日 時：6月16日(土)～7月15日(日)までの毎週土・日曜日 午前11時/午後2時
(ただし土曜日の午前11時の回は幼児向け番組「ほしみるおじさん」を投影します)
観覧料：200円(18歳未満・65歳以上無料)
定 員：70人

◆◇『平塚市史 13上』別編寺社（1）のお知らせ

『平塚市史』第13巻の上巻として、別編寺社（1）（監修：菅原昭英）を刊行しました。14冊目の『平塚市史』になります。大きさはA5判、1,005ページ、付録は「平塚市内寺社分布図」です。

本巻は平塚市内のうち平塚・大野・豊田・神田・城島・岡崎・金田の各地区に所在し、江戸時代の地誌『新編相模国風土記稿』に登場する寺院・神社を中心に、由緒と地域に関わる歴史について編集したものです。

寺社の歴史は、僧侶や神職のみならず、地域の支配者や住民も深く関わっています。このことはこれまでの『平塚市史』でも言及されたにもかかわらず、詳しくは追究されてきませんでした。

そこで本巻では、現代まで続く寺社はもちろん、明治時代の神仏分離でなくなってしまった寺院や小さな仏堂、路傍の祠なども取り上げ、その信仰から地域社会のすがたを探っています。身近な寺社に関する知識の源として、歴史の学習や研究にご活用ください。また、市内の図書館や公民館などでも、『平塚市史』を閲覧することができますので、こちらも是非ご利用下さい。



『平塚市史13上』別編寺社（1）

- 価格：1冊4500円
- 中央図書館向かいの市史編さん担当および博物館1階にて販売しています。
- 郵送の場合、住所・氏名・電話番号を明記の上、代金と送料560円（切手も可）を添えて現金書留で、〒254-0041 平塚市浅間町 12-41 博物館市史編さん担当までお送り下さい。

寄贈品コーナー展示

相模川流域の化石展

会期：6月16日（土）～7月11日（水）

過去の生物の痕跡である化石は、過去の地球における様々な情報を語る重要な証拠です。相模川流域に分布する、およそ3500万年前以降の地層から見つかった様々な化石からは、流域の大地の成り立ちを読み取っていくことができます。

今回の寄贈品コーナー展示では、平塚、大磯、二宮、愛川町など、相模川流域とその周辺から産出したナウマンゾウやクジラ、魚類、貝類などの様々な化石を展示します。これらの生物が生きていた当時の相模川流域はどのような姿だったのかを、化石から読み解いていきましょう。



↑平塚で産出した約8-9万年前のナウマンゾウの下顎化石

燻蒸（くんじょう）作業のため、休館します 【期間】 6月5日（火）～15日（金）

博物館が所蔵する資料は、地域の記憶を伝え、地域のこれからを考えるための大切な財産です。この資料を虫やカビの害から守るために、定期的に「燻蒸」という作業を行なっています。

これにともない、6月5日（火）から15日（金）までの期間を休館とさせていただきます。休館中、館内への立入はできませんが、電話等のお問い合わせには応じることができます。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

夏期特別展「火星 赤い惑星のひみつ」イベント

大人のための天文工作教室 「“ヤコブの杖”を作って火星の動きを測る」

工作って子ども向けだと思いませんか？ 今年度からはじまるこのシリーズは大人の方に工作をしつつ宇宙について学んでもらおうという企画。第1弾の今回は特別展のイベントとして開催します。“ヤコブの杖”とは望遠鏡が発明される以前、星の動きを測るために使われていた道具です。これを作りながら、接近しつつある火星の動きの観察方法を解説します。



- 日時：2018年6月30日(土) 15時30分～17時
- 講師：塚田 健(当館学芸員)
- 場所：科学教室 ● 定員：10人
- 参加：往復はがきに行事名、氏名、住所、電話番号を記入し、6月17日(日)(消印有効)までに申込。

ひらつか星空調査隊 隊員募集!!

街明かりで星が見えにくくなってしまいう“光害”。博物館では、平塚市内のどこでどのくらい星が見えるのか、5年前から市民の皆さんと一緒に調べています。

平塚といえば七夕、七夕といえば天の川…でも、街明かりがあると天の川はほとんど見えなくなってしまいます。昨年度に引き続き、8月10日(金)には環境政策課によるライトダウンも予定されていますので、その前後でどのくらい夜空が暗くなったかの調査も行います。平塚で天の川が見られる日を目指して…ともに活動しませんか？



<申込方法>

○往復はがきに行事名、住所・氏名・電話番号をお書きの上、博物館までお申込ください。

締切は7月20日(金)当日消印有効。

○小学生以下は保護者同伴でご参加ください。

<日程>

○下記日程の中から講習に参加し、その後、下記調査期間内に自宅周辺で星空を観察します。

★講習日程：7/26(木)、7/29(日)、8/1(水) 各午後3時30分～4時30分 (会場 プラネタリウム室)

★調査期間：夏期 2018年8月1日(水)～8月14日(火)

冬期 2019年1月25日(金)～2月8日(金)

館長の星空解説(夏)

きょうは七夕!



おりひめ、ひこぼしは、どこにいるの？

七夕はどんな神様？

七夕の星空にちなんだお話満載でお送りします

- 日 時：7月7日(土) 15時30分(所要60分)
- 解 説：澤村泰彦(当館館長・元天文担当学芸員)
- 観覧料：200円(18歳未満・65歳以上無料)
- 定 員：70人
- 対象年齢：とくになし
- 申 込：当日館受付にて観覧券をお求めください

Table with columns for date, day, event name, location, and special notes. Includes events like '古文書講読会', '東国史跡踏査団', and '相模川流域ジオツアー入門'.

Table with columns for date, day, event name, location, and special notes. Includes events like '太陽と星の動き', '相模川流域の化石展', and '夏空襲展'.

6月の休館日：4日、5日～15日(燻蒸)、18日、25日

☆: プラネタリウム一般投影 ◎: 申込制行事 ○: 参加自由 無印: 年間会員制
プ: プラネタリウム一般投影 特: 特別展 寄: 寄贈品コーナー展示 情: 情報コーナー展示

【6月の展示】

- 寄贈品コーナー展示 (会場: 博物館1階 寄贈品コーナー)
◎「新着資料展—民俗・歴史—」会期: 6月3日(日)まで
◎「相模川流域の化石展」2頁参照
■情報コーナー展示 (会場: 博物館2階 情報コーナー)
◎「ポスト特別展 四之宮前鳥神社」会期: 7月16日(月)まで
内容: 春期特別展「四之宮前鳥神社—その神輿と地域の信仰—」のダイジェストを展示します。

【6月のプラネタリウム】

- 定員: 70人 観覧料: 200円 (18歳未満・65歳以上無料)
○観覧券をお求めのうえ、投影開始10分前までに3階にお越しください。
○全席自由席です。 ○投影開始後のご入場・途中退出はできません。
☆プラネタリウム一般向け番組「宇宙から見た地球」(所要50分)
☆プラネタリウム一般向け番組「太陽と星の動き」1頁参照 (所要50分)
☆プラネタリウム幼児向け番組「ほしみるおじさん」(所要50分)
☆プラネタリウム特別投影「星空散歩」(所要50分)
内容: 北斗七星からたどる春の大曲線とそこから探せるうしかい座やおとめ座、春の星々和名などをご紹介します。6月に見られる天文現象も解説します。
日時: 6月2日(土)午後3時30分